

令和六年度学校文集「令和六年五月」

ひらやま 三号



日本一のかいだん

五年一組 黒田 桃馬
(四年三組での作品)

僕は三千三百三十三だんのかいだんをのぼりました。最初は上までいけると思ってたけれど、だんだんつらくなると、上までいくのは無理だと思いましただ。でも、あきらめずにいっしょうけんめいがんばってのぼったら一番上までつくことができました。一番高いところだけしきを見ると、すごくきれいなけしきだと思いました。また、今度かいだんをのぼりに行きたいです。



【タ刊デイリー『光の子』】

令和六年四月十二日

好きな動物は

五年二組 遠目塚 爽
(四年二組での作品)

ほとくの好きな動物は、ワシです。理由は三つあります。一つ目は、遠くへ飛べることです。ワシは鳥類で一番速度を出すことができます、時速百六十キロで飛ぶことができます。車の中から外の風景を見ると、とても速く風景が流れていきます。これ以上に速く飛べ

とてもすごいと思います。

二つ目は知のうです。鳥の一部はのう化指数がとても高く、ワシはトップ十に入ります。例えばシロハラウミワシは、海にえものを落とせ、えものを弱らせたりするそうです。パワーと知のうもあって、とても力ッコイと思います。



【タ刊デイリー『光の子』】

令和六年四月十二日

気になるキッチン

三年二組 砂原 太一
(二年二組での作品)

夕方、お母さんがりょう理を作るとき、キッチンからいろいろな音が聞こえてきます。「ジュージュー」「とんとん」「ジャァー」。いろいろな音が



聞こえるので、お母さんに聞いてみました。お母さんは、こう答えてくれました。「ジュージューは、何かをやく音。トントンは、何かを切る音。さい後に、ジャァーは、何かをあらう音だよ。」いろいろな音が出てくるから気になったけど、すべて分かったのです。きりました。今日のばんごはんが楽しみだな。

【タ刊デイリー『光の子』】

令和六年四月十九日

ぎょうざが2こ

三年二組 河野 霧翔
(三年での作品)

今日、おかただけをしました。2年生の教科書をかたづけて、3年生の教科書にかえました。きれいにならんたのを見て、いい気持ちでした。その後、かいものに行きました。ホットプレートとお兄ちゃんのノートを買いました。帰ってホットプレートでぎょうざをやきました。ほくは、とちゅうでねました。おきたら、ホットプレートの上に2こしかありませんでした。こんどは、いっぱい食べたいです。



【宮崎日日新聞『若い目』】

令和六年四月二十六日

六年生でがんばること

六年一組 向山 昊輝

ほとくのがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、漢字です。今まで漢字がまったく覚えられず、漢字の五十問テストも四十点、三十点しかとれなくて、とてもくやしかったです。六年生では漢字をたくさん覚えてくやしくないよう高得点をとってきたいです。次に、下級生を引っぱっていきたくです。前の六年生は下級生にもやさしく色々教えてくれました。前の六年生を見習って、ぼくも下級生にやさしく、ダメなことをしていたら「ダメだよ。」と言えるような六年生になりたいです。三つ目は、委員会です。理由は、今の五年生をひっぱっていきたくからです。



【タ刊デイリー『光の子』】

令和六年五月九日

☆入賞おめでとう!☆

【日本サーフィン連盟SMキッズ徳島支部予選】

優勝 熊谷 翔真〔6年1組〕
〈全国大会出場〉

【宮日杯剣道県小・中・高校選手権大会】

《小学6年部》
5位〔ベスト8進出〕
井上 湊太〔6年1組〕

【全日本バレーボール小学生大会日向地区予選会】

《混合の部》
優勝 財光寺バレーボールクラブ
〈県大会出場〉